

週 報

2020 年 11 月 22 日 第 34 号 (創立 1907 年 12 月 8 日)

日本基督教団 洛北教会 主任担任教師 岡本知之

〒603-8146 京都市北区鞍馬口通寺町西入下ル 285-83

Tel 075(231)6676 Fax (223)5505 <http://rakuhoku-church.com>

聖霊降臨節第 2 6 主日

10 時 45 分

前 奏

礼拝招詞 (一同起立)

讃 美 5 3 2 (1 節のみ)

主の祈り (5 6 4)

使徒信条 司式者：我らはかく信じ、代々の聖徒と共に、使徒信条を告白す。

一 同：我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、^{をとめ}処女 マリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、^{よみ}陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、^{とこしへ}聖なる公同の教会、^{いのち}聖徒の交はり、罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン

聖書朗読 ヨハネによる福音書 18 章 33 節～38a 節(新約聖書 205 頁)

間 奏

祈 禱 岡本知之牧師

説 教 「真理とは何か」 岡本知之牧師

献 金 (感謝と献身のしるし)

報 告

頌 栄 5 4 1

祝 禱

後 奏

司式 中西和樹
奏楽 三浦真実子

礼拝招詞

きょうだいたち、喜びなさい。初心に帰りなさい。励まし合いなさい。思いを一つにし、平和に過ごしなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。

コリントの信徒への手紙二
13 章 11 節

<報 告>

*10 月より「短縮礼拝」の形で「集合礼拝」が再開されています。「朝の聖書研究会」も短縮して再開していますが、夜の「祈祷会」は引き続き休会とします。

12 月の礼拝およびクリスマスの予定については本日の役員会で検討し、皆さまにご報告致します。

<本 日 の 集 会>

* 定例役員会 礼拝後

<今 週 の 集 会>

* 聖書研究会 25 日(水)10 時半
聖書研究・司会 田中 顕
申命記(6)

<次 週 の 案 内>

待降節第 1 主日

11 月 29 日
10 時 45 分

説教 「目は覚めていますか」
岡本知之牧師

司式 長谷川尚三

聖書 マルコによる福音書
13 章 32 節～37 節

讃美 94(1 節のみ)

奏楽 中西百合

11 月当番役員 西村温美

<集 会 統 計>

(11 月 14 日～11 月 20 日)

	曜	集会	男	女	計
15	日	主日礼拝	23	26	49
18	水	朝の聖研	4	5	9

<説教黙想>

「何に属して生きるか」

今日のテーマは、自分が何に属しているかと云うことである。人々は明け方にイエスを総督官邸に連れて行くが中に入ろうとはしない。理由は過越の食事をするためには汚れてはならないからである(28節)。考えてみればこれは凄いことである。ローマ総督ピラトであっても、異邦人であるから本人は元より、彼の過ごす官邸もまた汚れているというのである。これがユダヤ人たちの属する世界である。

そこで、ピラトがユダヤ人のところに出てくるのである(29節)。私がピラトなら、「ふざけるな。私とその居所が汚れているというのか。ならばおまえたちは、その汚れている者に裁きを求めにきたのか」というであろう。けれどもピラトはそうしない。いわば唯々諾々と、ユダヤ人に寄り添うのである。理由はただ一つ、ユダヤ人の暴動や反乱を恐れていたからである。数年間を無事に治め終えてローマに召喚されること。それだけが地方総督の望みであった。それがピラトの世界であり、唯一の行動基準であった。

そしてイエスは云う。「わたしの国は、この世には属していない」(36節)と。そして更に云う。「わたしは真理について証しをするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く」と。

「真理とは何か」、これはピラトの問いであるが、ヨハネ福音書における答えははっきりしている。「わたしは道であり、真理であり、命である(14章6節)」。即ち、真理とはイエスご自身の事であり、命も道もイエスご自身である。とすればピラトは問い方を誤った。真理とは何かではなく、「真理とは誰か」と問うべきである。真理とは主キリストと父と聖霊の三位一体の人格的交わりと、その真実それ自体である。

<会計報告>(11月15日分)

*短縮礼拝の間、礼拝献金、月次献金、感謝献金等は教会へ直接ご持参頂くか、郵便振替、銀行振込にてお捧げ下さい。教会財政保持のため、ご協力よろしく申し上げます。

礼拝への備え

- *気持ちに余裕をもって礼拝をささげるためにも礼拝開始10分前には着席し、私語は慎みましょう。
- *聖書朗読中や祈祷中は入堂を控えましょう。
- *携帯電話の電源はお切りください。

◎郵便振替口座：01020-0-24987

◎口座名称：日本基督教団洛北教会

◎洛北教会 email：rakuhoku@eos.ocn.ne.jp